

ここに チュウモク

観光資源の魅力を発掘 ～中間報告～ たきのうえの自慢できる 冬の遊びを商品化！

【滝上町観光振興の課題】

滝上町の観光振興は「芝ざくら」を核とした花観光が中心となり、観光の通年化が長年の課題となっています。

体験観光の資源はあるが集客につながっておらず、施設の利活用が図られていないことや、コーディネートが不足していることなどが上げられます。

さらに、滞在または宿泊してもらったための「冬の体験観光メニューがない！」ことが大きな課題となっています。

通年観光事業の課題を克服し、冬の観光モデルプランの確立とそれを発信する人材の育成を図りながら、観光誘客促進のため研修会を開催しています。

今月号では、これまでの取り組み内容をお知らせします。
【第1回体験プログラム作りの基本】

12月18日に第1回の研修会を開催し、15名ほどの参加が

ありアイデアだしを行いました。

ワークショップの前段で「体験プログラムによる地域づくり」と「体験プログラムコンセプトの作り方」をテーマにお二人の講師からお話をいただきました。

はじめに北海道観光まちづくりセンター宮本英樹さんから、過去に滝上町で実施したガイド養成事業を例に人材の育成や地域資源の掘り起こし



スノーシュー

についてお話いただきました。

また、北海道宝島旅行社の林直樹さんからは

近年、北海道で人気のある冬の体験プログラムの事例紹介、成功するための秘訣などをお話いただきました。

(体験メニューのヒント)

・スノーモビルは大人気だけどそれだけではダメ！

・犬ぞりは大人気、しかし夏

多くの犬たちをどうする？

・スノーシューにはサプライズが必要！

・来年以降手ぶらキャンプは

大人気となる！

など体験メニューのヒントを

いただくことができました。

その後のワークショップでは、

滝上町の魅力の掘り起こしを

行い、滝上町の「良さ」をつ

なげること、「商品」になる

話し合いを行いました。

【第2回実際にスノーシュー

・ツリーイング体験しました】

1月14日～15日には、講師

の案内と指導を受けながら実

際のアクティビティを体験し

ました。



ツリーイング

初日の14日には、桜ヶ丘スキー場の頂上から約1時間かけてスノーシューを体験しました。参加者からは、時間的にもちょうどよく、圧雪していない雪と山林の中を歩く体験は新鮮で取り組みやすいのではないかという意見が出されました。

翌15日にはツリーイング体験(木登り)を行い初回講座という

ことで、まずは、スキー場の敷地内の木に登りました。

渓谷でツリーイング



ロープワークを駆使したツリーイングには、最初は戸惑いながらも、目標の高さまで登っていくことができました。なんとその後、場所を渓谷遊歩道に移動してのツリーイング体験、渓谷の崖を下って凍った川の上を歩くことができました。滝上町の森林と渓谷を遊びつくす体験ができました。

次回は、2月18日～19日に開催し、ツアープログラムを充実させる活動を行い、3月上旬には、商品化する体験メニューをプログラム化したモデルツアーを開催し、実際にお客様をご案内するまでの取り組みとなります。

「滝上自慢の冬の遊び！」ここにチュウモクです。